

本の万華鏡

推薦者
中村 桂子
(なかむら・けいこ)

J 生命科学館館長、理学博士、遺伝学者。1936年東京都生まれ。59年東京大学理学部化学科卒業。64年同大学大学院生物化学専攻博士課程修了後、国立予防衛生研究所研究員、三菱化成生命科学研究所社会生命科学研究室長、早稲田大学人間科学部教授などを経て、2002年から現職。主な著書は、『生命科学』講談社、『生きもののしくみ』（ほるぷ出版）、『食卓の上のDNA―暮らしと遺伝子の話（ハヤワヤ文庫）』など。

『野遊びを楽しむ―里山百年図鑑』

松岡達英著 ― 小学館 2008年



「生物多様性」という言葉を知っていますか。というアンケートで「ハイ」という答えが1割程度だったという報告を見ました。さあ大変、COP10が開かれるというのにこれはまずい、この言葉を普及しなくてはと、シンポジウムを開くという話がそれに続きます。なんだかおかしいと思います。知りませんと答えた方にもう一度、「生物多様性」という言葉を見直していただきたいのです。「生きものは多様」とは「生きものについていろいろいますね」というあたりまえのことであり、そう思わない方はいないでしょう。「いろいろいるなあ」と思うだけでなく、それを面白いと感じていただくとうれしいと、長い間生きものの研究をしてきた者としてはそう思います。もし、「生きものについていろいろいるなあなんて思ったことありません」という方がいたら今度こそ本当に、さあ大変です。今日一日は、通勤通学の時、スーパーマーケットへのお買い物の時、メールは少し控えてキョロキョロまわりを見ながら歩いてみてください。季節によつてさまざまですが、どんな都会でも樹木、花、ちよつと気をつければ鳥がいます。このようにして、いろいろいるなあという感じが身についてきたら、里山まで足を伸ばしましょう。そのときのお供は、松岡達英著『野遊びを楽しむ―里山百年図鑑』（小学館）です。著者は言います。

「この本は、私たちの身近な自然とそこに生きる仲間たちとどうすれば楽しくおつきあいできるかを私の体験を通して紹介しています。私たちのおいじさんたちが、大切にしてきた里山の自然をこの先、百年も千年も世代をこえて守っていききたいものです」

草花、山菜、チョウやトンボ、どんぐり、きのこ、貝、野鳥などがていねいな絵で紹介されているのはもちろん、それとのつき合いが書かれています。たとえば山菜のページは「おばあちゃんに習う山菜料理」です。ワラビもゼンマイも、意外に子どもたちが楽しんで食べるといいます。

生きもののおつき合いには、名前をおぼえることが大事です。名前を知ると急に大切に見えてくるのです。雑草などという言葉は使えなくなります。難しい顔で「生物多様性」をお勉強するのはなく、「さまざまな生きもののおつき合い、私たち人間もその仲間であることを実感すること」が大事です。COP10で問題になる「生物多様性」を本当の意味で生かす方法はこれしかないと思います。

CEL

from editor's room

- 『生物多様性の意味―自然は生命をどう支えているのか』イボンヌ・バスキン ダイアモンド社 (2001年)
- 『自然再生事業―生物多様性の回復をめざして』鷲谷いづみ、草刈秀紀編 築地書館 (2003年)
- 『生物多様性の危機―精神のモノカルチャー』ヴァンダナ・シヴァ 明石書店 (2003年)
- 『生物多様性はなぜ大切か?』日高敏隆 昭和堂 (2005年)
- 『生物多様性という名の革命』デヴィッド・タカーチ 日経BP社 (2006年)
- 『いきものがたり―生物多様性11の話』山本良一企画監修 Think the Earthプロジェクト編著 ダイアモンド社 (2007年)
- 『自然保護―その生態学と社会学』吉田正人 地人書館 (2007年)
- 『生物の多様性ってなんだろう?―生命のジグソーパズル』京都大学総合博物館、京都大学生態学研究センター編 京都大学学術出版会 (2007年)
- 『森林環境 (2007) 動物反乱と森の崩壊』森本幸裕、安田喜憲 森林文化協会 (2007年)
- 『コウノトリの贈り物―生物多様性農業と自然共生社会をデザインする』鷲谷いづみ 地人書館 (2007年)
- 『保全生物学のすすめ―生物多様性保全のための学際的アプローチ 改訂版』リチャード B. プリマック 文一総合出版 (2008年)
- 『いのちの木―もしも地球の生きものが一枚の葉だったら』ロシェル・ストラウス 汐文社 (2008年)
- 『とりもどせ!琵琶湖・淀川の原因風景―水辺の生物多様性保全に向けて』西野麻知子 サンライズ出版 (2009年)
- 『生物多様性と食・農』天笠啓祐 緑風出版 (2009年)
- 『世界に乗り遅れないための生物多様性読本―入門から実例まで企業人のための決定版』日経エコロジー編 日経BP社 (2009年)
- 『生物多様な星の作り方―生態学からみた地球システム』デイビッド・ウィルキンソン 東海大学出版会 (2009年)
- 『企業のためのやさしくわかる「生物多様性」』枝廣淳子、小田理一郎 技術評論社 (2009年)
- 『生物多様性のいまを語る』岩槻邦男 研成社 (2009年)
- 『生物多様性の日本』福山研二、安田喜憲 森林文化協会 (2009年)
- 『里地山文化論 上・下巻』養父志乃夫 農山漁村文化協会 (2009年)
- 『生物多様性 生態系と経済の基礎知識―わかりやすい生物多様性に関わる経済・ビジネスの新しい動き』林希一郎編 中央法規出版 (2010年)
- 『岩波科学ライブラリー につばき自然再生紀行 散策ガイド付き』鷲谷いづみ 岩波書店 (2010年発行予定)